

農作物技術情報 第8号 果樹

発行日 令和7年10月30日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当（電話 0197-68-4435）

携帯電話用
二次元コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコン、携帯電話から「<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>」

- ◆ りんご 果実生育（横径）は回復傾向にありますが、夏季の少雨の影響を強く受けた園地では、平年より小さい状況が続いています。「ジョナゴールド」の果実品質は概ね平年並で、10月中旬に収穫期に入りました。「ふじ」も適期収穫に努めましょう。

りんご

1 生育概況

(1) 果実肥大（表1）

生育診断ほにおける10月1日時点の果実生育（横径、県平均）は、平年比で「ジョナゴールド」が96%、「ふじ」が99%です。6月から7月は少雨で経過し、8月以降の降雨で果実生育は回復傾向にありますが、少雨の影響を強く受けた園地では、平年より小さい状況が続いています。

表1 県内生育診断ほの果実生育調査結果（10月1日現在）（単位:mm）

市町村	地 区	ジョナゴールド					ふじ				
		本年 (R7)	平年	比	前年 (R6)	比	本年 (R7)	平年	比	前年 (R6)	比
岩手県農業研究センター		93.1	92.7	100%	95.0	98%	84.5	86.4	98%	86.9	97%
盛岡市	三ツ割	88.7	91.1	97%	93.3	95%	77.9	85.2	91%	86.2	90%
花巻市	石鳥谷※2	88.2	91.0	97%	89.9	98%	85.6	84.0	102%	87.9	97%
奥州市	江刺樽輪	78.0	87.7	89%	79.6	98%	78.7	83.9	94%	79.8	99%
一関市	狐禅寺※3	90.8	91.5	99%	90.1	101%	84.1	83.7	100%	83.3	101%
陸前高田市	米崎	90.0	91.6	98%	95.3	94%	86.4	85.4	101%	87.3	99%
宮古市	崎山	-	-	-	-	-	91.1	87.8	104%	94.5	96%
二戸市	金田一	88.8	91.6	97%	92.0	97%	90.3	88.1	102%	92.8	97%
県平均値※1（参考）		87.4	90.8	96%	90.0	97%	84.9	85.4	99%	87.4	97%

※1 県平均値に農研センターのデータは含まれていない。

※2 R4年度より定点が変更となったため、平年値は花巻市上根子（前定点）の値を使用。

※3 R2年度より定点が変更となったため、平年値は一関市花泉（前定点）の値を使用。

※4 平年値は昭和60年～令和6年の平均
（地点変更時はその年次からの平均）

(2) 果実品質（図1～3）

9月下旬から10月上旬における「ジョナゴールド」の果実品質は、硬度、糖度、デンプン指数いずれも概ね平年並（県平均）で、10月中旬から収穫期に入りました。なお、10月上旬まで気温が平年よりかなり高かったため、着色が遅れて果肉先行となった園地もみられます。

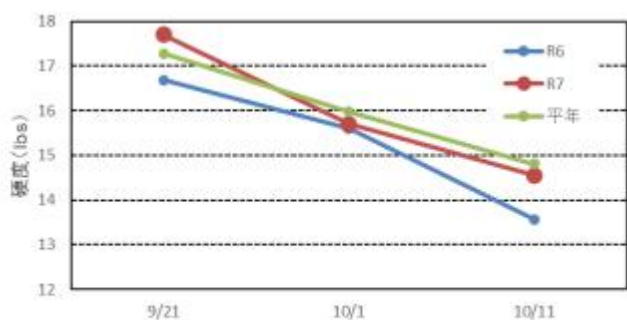


図1 ジョナゴールドの硬度の経時変化(県平均)

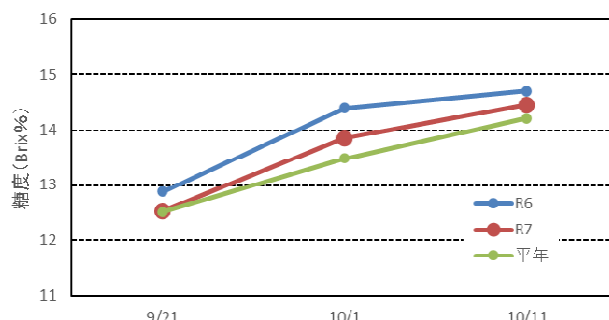


図2 ジョナゴールドの糖度の経時変化(県平均)

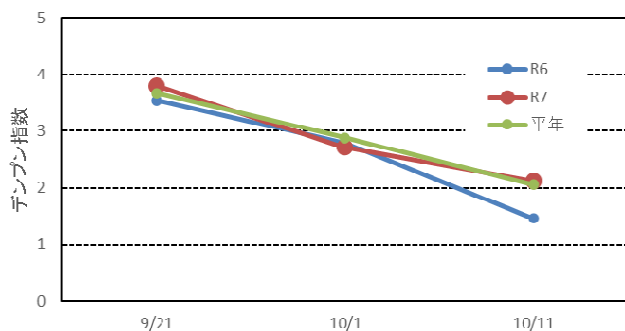


図3 ジョナゴールドのデンプン指数の経時変化(県平均)

2 栽培管理の要点

(1) 晩生種の収穫

「ふじ」は食味を重視して収穫します。着色や蜜入りを意識し過ぎて遅くまでならせると、果肉の軟化や果実の樹上凍結、降雪による収穫の遅れが懸念されるので、適期収穫を心がけます(表2)。また、養分の消耗が、樹体の凍寒害につながる恐れもあるので注意してください。

表2 ふじの収穫開始期の目安

品種	満開日※	販売時期	満開日 起算日数	満開日起算による 収穫予想日○	硬度 (lbs)	糖度 (%)	地色 カラーチャート 指数	ヨード 指数
2月～4月末 165～175日 10月18日 ～ 10月28日								
ふじ	5月6日	即売～3月末	175～180日	10月28日 ～ 11月2日	14以上	14以上	4～5	1～2
即売～年内 180～185日 11月2日 ～ 11月7日								

※ 満開日は農業研究センター観測値。

○ 収穫予想日は、満開日より機械的に算出した数値(目安)です。収穫にあたっては果実品質を確認の上、実施してください。

(2) 果実の樹上凍結の回避

樹上で果心部まで凍結した果実は、内部褐変、硬度の低下、食味の低下など果実品質が低下します。特に、収穫後常温においた凍結果実は、内部褐変が著しく増加し、冷蔵貯蔵でも貯蔵20日以降に増加することが認められています(図4、5)。

したがって、このような果実の樹上凍結を回避するためには、販売時期からみた収穫適期を守り、過度に遅い収穫は避けてください。

凍結果は押し傷がつきやすく品質の低下を招くので、被害を受けた際は樹上で解凍してから収穫します。また、速やかにJA等関係機関と協議の上、販売する場合は冷蔵貯蔵し、光センサー選果機等で褐変果を排除してください。

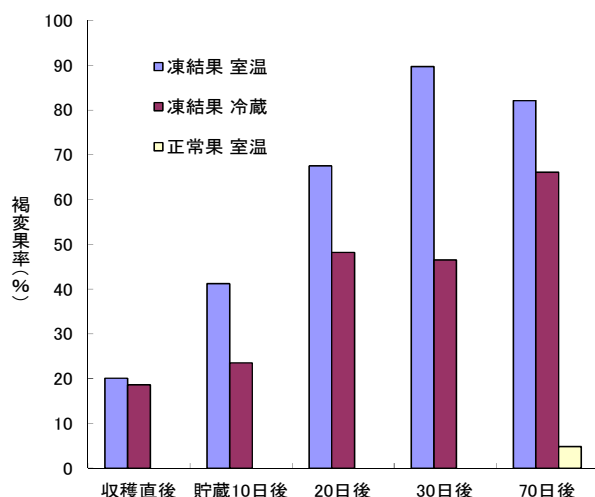


図4 果実の内部褐変率の推移



図5 内部褐変の様子

(3) 風害防止対策

11月には発達した低気圧の影響で、思わぬ風害が発生する場合があります。強風で倒木が発生しないよう、防風ネットの設置、支柱との結束を改めて確認してください。また、気象情報に注意し、場合によっては低気圧の接近前に収穫可能な晩生種は収穫を進めるなど、被害を最小限にできるよう対策を講じてください。

(4) 病虫害防除対策

黒星病や褐斑病の発病葉・発病果は翌年の伝染源となるので、葉摘みや収穫作業の際に発病が確認された場合は見つけ次第摘み取り、土中に埋没させるか焼却処分をしてください。

3 除草剤の秋期処理

「ふじ」の収穫後から落葉する前まで（落葉後は散布ムラが出るため）に除草剤を処理することで、翌年の6月上旬頃まで雑草を抑えることができます（表3）。

しかし、秋は気温が低く除草剤の効果が出るまで時間がかかりますので、草が枯れないからといって再度処理する必要はありません。

なお、収穫後に秋期処理した除草剤は、翌年の農薬使用回数に含まれますので注意してください。グリホサート系除草剤（ラウンドアップマックスロードなど）は、風などで舞い上がり樹体に付着すると、除草剤が直接付着しなかった枝でも春以降に葉が柳葉状になる薬害が生じることがあります。グルホシネート系除草剤（バスタ液剤、ザクサ液剤など）は幹に薬剤が付着すると樹皮が粗皮状になり、幼木では枯死することもあります。除草剤を使用する際には、専用の散布器具を用いて飛散しないよう注意してください。

表3 除草剤の使用体系(秋期処理)

優占草種	1回目(11月)	2回目(6月上、中旬)	3回目(8月上、中旬)
強雑草	吸収移行型 (通常散布)	吸収移行型 (通常散布)	吸収移行型 (通常、少量散布)
弱雑草	吸収移行型 (少量散布) または接触型	吸収移行型 (通常散布)	吸収移行型 (通常、少量散布)

注1) 強雑草: タンポポ、クローバー、ヒメオドリコソウなど(除草剤の効きにくい草種)

弱雑草: ハコベ、メヒシバなど(除草剤の効きやすい草種)

注2) 吸収移行型: グリホサート系除草剤など

接触型: グルホシネート系除草剤など

注3) グルホシネート剤、グルホシネートPナトリウム塩剤は、「吸収移行型」と「接触型」の中間タイプであり、移行性はあるものの雑草の地下部まで枯殺する効果が期待できないため、使用体系においては「接触型」としての位置づけとしている。

4 ツキノワグマ対策

(1) 農作物被害防止対策

対策は、「まもる」・「よせつけない」・「つかまえる」の三本柱を総合的に実施することを基本とします。

ツキノワグマから農作物を「まもる」ため、ほ場周辺の電気柵は、確実に設置・運用してください。ワイヤーは、地面と平行に隙間なく、正しい高さで設置されているか点検します。なお、シカ対策用の電気柵は、ワイヤーの最下段が地上 40cm になっていますが、地上 20cm の高さに一段追加することで、ツキノワグマ対策を兼ねることができます。

「よせつけない」ためには、ほ場や集落、河川付近の茂みや耕作放棄地は、「草を刈る」ことで見通しを良くし、ツキノワグマの潜み場や休憩場をなくします。また、食べ物となる収穫残さは早期に処分します。

このほか、詳細は、令和 7 年 9 月 25 日ならびに 10 月 30 日発行の農作物技術情報特別号ツキノワグマ対策を確認してください。

(2) 人身被害防止対策

令和 7 年 4 月 1 日から 10 月 19 日までに、31 件 32 名の人身被害が発生しています。ツキノワグマの出没に十分に注意を払い、目撃したら速やかに市町村または警察へ連絡してください。

農作業時には、クマ鈴やラジオなどで音を出したり、手をたたいて声を上げたり、車から降りる前にはクラクションを鳴らすなど、人の存在をアピールします。

また、ほ場では、複数人で行動するよう心掛け、ヘルメットの着用やクマ撃退スプレーを携帯するなど防御に努めます。

ツキノワグマに遭遇したら、目を離さずに静かにゆっくり後ずさり、間に樹木などの障害物を挟みながら距離を取ります。背を向けて走って逃げないでください。撃退スプレーを使用する際は、風向きに注意します。

もしツキノワグマが攻撃してきたら、両腕で顔や頭をカバーし、地面に伏せて防御してください（図 6）。人身被害防止対策については、岩手県環境生活部自然保護課のホームページ「ツキノワグマによる人身被害状況・出没状況」も参照願います。



図 6 ツキノワグマ人身被害防止対策（岩手県環境生活部自然保護課ホームページ抜粋）

【資料利用上の注意】

●この資料に掲載している農薬の情報は、令和 7 年 10 月 27 日現在の農薬登録情報に基づいています。

●農薬は使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任をもって使用してください。

（資料作成年月日：令和 7 年 10 月 27 日）

次号は11月27日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。
発行時点での最新情報に基づいて作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

9月15日～11月15日は
秋の農作業安全月間です

忘れずに！点検・確認・安全管理
無事故で終える収穫作業

農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。